

衆議院財務金融委員会ニュース

H25.5.21 第183回国会第9号

5月21日(火)、第9回の委員会が開かれました。

1 金融商品取引法等の一部を改正する法律案(内閣提出第59号)

・麻生国務大臣(財務大臣・金融担当)、島尻内閣府大臣政務官、丸川厚生労働大臣政務官、長島農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

(質疑者及び主な質疑内容)

小倉 将信君(自民)

- ・銀行の5%ルールを見直すことになった経緯と趣旨を伺いたい。また、銀行の本業は融資であると考え、その融資能力を高めるための政府の取組について伺いたい。
- ・現行の個人保証制度は、中小企業の経営者に対し、過度の負担を強い、円滑な事業承継等への取組意欲を阻害しているので、是非見直して欲しいと考えるが、大臣の見解を伺いたい。
- ・EUにおいて金融取引税が導入されれば、日本国内におけるEU域内株の売買も課税対象となるが、その影響についてどのように考えるか。

岡本 三成君(公明)

- ・本改正案では、銀行の5%ルールの例外として、銀行が投資専門子会社等を通じた出資を行いやすくするものが多いが、地域金融機関のうち投資専門子会社を持つのは5社に過ぎない。そのような状況で、この法改正により景気拡大にどのようにつなげていこうと考えているのか。
- ・減税等を含め、金融機関による企業への投資インセンティブをより一層強めることが必要だと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・MRIインターナショナル(以下「MRI」という。)のような、日本の投資家から集めた資金を海外で運用するような事案では、海外の規制当局との連携が重要となる。現状において、それはどのように行われているのか、今後どのように改善していくのか伺いたい。

階 猛君(民主)

- ・金融機関の秩序ある処理の枠組みが整備されることで、かえって金融機関のリスク管理が甘くなる懸念があるのではないか。
- ・リスクの高い取引によって破綻した証券会社にも公的資金が投入される可能性があることについて、どのような大義名分があるかと考えるか大臣に伺いたい。

- ・ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援事業に係る競争力強化についての確認書に、金融機関が認定支援機関として署名した場合、新たに何らかの責任を負うのか伺いたい。
- ・現在の経済指標の場合、消費税率は引き上げられるのか伺いたい。また、消費税率引上げの条件として挙げている行政改革の取組状況及び今後の目標について伺いたい。

松田 学君(維新)

- ・平成9年の消費税率引上げ(3%から5%)が、その後のデフレ不況の要因となったのか、その因果関係について大臣の見解を伺いたい。
- ・本改正案で整備する、金融機関の秩序ある処理に関する措置は、従来の金融危機対応措置と具体的にどのように違うのか。
- ・本改正案では、預金保険料の還付に関する規定が新設されるが、預金保険料は、将来に備え、むしろプールした方がよいと考えるがいかがか。また、外国銀行支店が預金保険制度の対象外であることを見直すべきであるかと考えるが大臣の見解を伺いたい。

小池 政就君(みんな)

- ・今般の増資インサイダー取引事案等を踏まえた対応において、具体的にどのような情報伝達・取引推奨行為が違反行為となるのか。
- ・銀行が、5%ルールの例外として事業再生会社や地域経済の再活性化事業会社に出資する場合のプロセスはどのようなものか。金融庁への事前申請や金融庁による認定は必要か。
- ・AIJやMRIの事案等を踏まえ、証券取引等監視委員会の体制及び審査の質を再考すべきだと考えるがいかがか。

佐々木 憲 昭君 (共産)

- ・金融機関の秩序ある処理に関する措置における流動性供給等及び当該措置に係る政府保証や政府補助を可能とする規定は、将来の財政負担につながるものではないのか。
- ・インサイダー取引に係る情報伝達・取引推奨行為の規制は、主観的要件と取引要件が付されているため、実効が上がらないのではないのか。
- ・投資一任業者等に対する検査・監督体制を見直すに当たって、A I J 事案の教訓がどのように生かされたのか。

鈴木 克 昌君 (生活)

- ・証券取引等監視委員会への情報提供等があったにもかかわらず、金融当局はA I Jによる不正を早期に発見することができなかった。結果的に、金融当局が被害を拡大させた側面もあると考えるが、その責任に対する認識を伺いたい。
- ・MR I 事案の概要等について伺いたい。また、この事案やA I J 事案を踏まえると、ピンポイントの対応ではなく、金融商品取引法の罰則の在り方について、抜本的に見直す必要があるのではないのか。
- ・投資信託の分配金については、いわゆる「タコ足分配」が問題となっているが、その在り方について金融庁が注視していく必要があるのではないのか。